

高齢者新型コロナワクチンの説明書 (2026/2027 シーズン)

新型コロナウイルス感染症とは	新型コロナウイルス感染症は、人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症です。感染者のせきやくしゃみ、会話の時に出るウイルスを含む飛沫やエアロゾルと呼ばれる小さな粒子を吸い込んだり、それらが目や鼻、口に直接付着することで感染します。症状は、鼻水や鼻づまり、のどの痛みなど、普通のかぜと同じような症状が多く、かぜとの区別がつきにくくなっていますが、かぜとは異なり一部の人で重症化し、入院が必要になることもあります。高齢者や心臓病、糖尿病等の基礎疾患を前もって患っていた人では、重症の肺炎を引き起こすことが多いです。
接種対象年齢 接種期間・回数 ワクチンの種類	65 歳以上の者 60 歳以上 65 歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器の機能の自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者、及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する。身体障害者手帳 1 級相当
	令和 8 年 10 月 1 日～令和 9 年 1 月 31 日の期間に 1 回
	薬事承認を受けた、下記のいずれかのワクチン mRNA ワクチン ： ☐ コミナティ ☐ エムネクスパイク ☐ ダイチロナ 組換えタンパクワクチン ： ☐ ヌバキソビット mRNA（レプリコン） ： ☐ コスタイベ
効果	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症の予防と重症化の予防効果があります。
副反応	新型コロナワクチンの主な副反応として、注射した部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、重大な副反応として mRNA ワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。
受けることができない人	○ 明らかに発熱している人（通常は 37.5℃を超える場合） ○ 重い急性疾患にかかっている人 ○ このワクチンの成分に対し重度の過敏症（アナフィラキシー）の既往歴のある人 ○ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた人
予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人	下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。 ○ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人 ○ 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人 ○ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人 ○ 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人 ○ 過去にけいれんを起こしたことがある人 ○ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
ワクチン接種後の注意	○ 接種後 30 分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とご連絡がとれるようにしておきましょう。 ○ 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位を強くこすことはやめましょう。 ○ 通常の生活は問題ありませんが、接種当日は過度な運動を控えましょう。